

令和8年度入学式式辞

傍らを流れる合瀬川の桜も散り初めを迎え、季節の移ろいを感じられる今日の佳き日、PTA会長の佐藤理恵子様はじめ役員の皆様のご臨席を賜り、保護者の皆様とともに愛知県立小牧南高等学校第四十七回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びでございます。高い席からではありますが、教職員を代表して、心より厚く御礼申しあげます。

保護者の皆様方におかれましては、これまで慈しみ、その健やかな成長を見守ってこられたお子様が、本日もめでたく高校入学の節目を迎え、感慨深くお慶びのことと存じます。心からお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとう。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎します。義務教育を終え、皆さんは今日から高校生となりました。今日から三年間、240名の一員として共同生活を送りながら、より高い進路の実現に向けて充実した高校生活を送ることになります。本校の教育方針の下、自分を鍛えたい、人間的な成長を目指したいという皆さんと、これからの生活をともにしていけるのは、私たちにとっても喜ばしいことです。どうか、今の新鮮な気持ちとほどよい緊張感を忘れずに、これからの三年間、主体性を発揮しながら学び、心と体を鍛えてください。

本校は昭和55年、地域の大きな期待を背負って開校し、以来47年に渡り1万4千人を超える卒業生を輩出してきました。小牧市はもとより県の内外において活躍する卒業生の存在は、本校が地域の厚い信頼に応え続けている証でもあります。4年後に50周年を迎える本校が、この節目をどのように乗り越え、その先の歴史を積み重ねてゆくのかは皆さんのがんばり次第です。牧南に入学したということは、先輩から襷を受け取ったということです。襷に込められた様々な想いをしっかりと握りしめて、後に続く世代につなげていってください。

本校の校訓は、「知(ち)・行(こう)・恕(じょ)」と言います。最初の二文字、知と行は、「知行合一(ちこうごういつ)」という四字熟語の一部で、「知識と行為は一体である。知っているだけで実践しないのは本当の知とは言えない」という意味です。皆さんには、学んだことを実行することで、知識を確かなものにしてもらいたい。知識をインプットするだけで満足せず、言葉にしたり、行動に移すアウトプットを行うことで、知識と行動の質を一体的に高めることができます。東京大学名誉教授でもある養老孟司さんもインプットとアウトプットを繰り返す中で私たちの脳は成長していくと言っています。

三つ目の文字「恕」は、中国古代の思想家、孔子の教えとして大切にされてきた言葉です。孔子がある時、弟子の一人から、人生の中で守るべき大切な言葉は何かと尋ねられた時、「それは恕(じょ)である。」と答えました。恕とは一般に「思いやり」と訳されます。グローバル化が加速し、民族や文化、宗教間の対立が激化する現代社会においては、この「恕」という概念は、論語が生まれた二千五百年前にも増して、重要な意味をもっていると思われます。皆さんには思いやりの心を大切にしながら、自分の実践できる恕の心を大きく成長させてほしいと強く思います。

さて、本日は絶好の機会なので、牧南の学びについて特徴的なことを1つ紹介しておきます。それは、「探究的な学習」の充実です。小牧市内の中学校で学んでいた皆さんは、中学校でマイ探究という授業がありました。小牧市以外から通ってくる皆さんも、中学校の総合的な学習の時間の中で「探究」という言葉を聞いたことを覚えているかもしれません。皆さんが活躍するこれからの時代は人生100年時代と言われています。名古屋大学大学院の教授で本校の学校評議員もお務めいただいている柴田好章教授によれば、学校は、生徒から生涯学習の基盤として探究心を引き出し、探究力を育てていかなければならないと言われます。「探究」とは、物事を深く考えてその本質や在り方を明らかにすることです。高校には「総合的な探究の時間」という授業があります。皆さんは、例えば、地域の文化や歴史、産業や技術、科学や工学、医療・福祉などについて調べ、自ら問いを立て、論理的に考察していくこととなります。それが「探究」です。探究にとって大切なのは、まず自分でテーマを見つけることです。皆さんには世の中の様々な事象や身近な出来事に日頃から興味をもち、自分の内面に深い問いが成立するよう普段の生活を心掛けてほしいと思います。皆さんが、どうしても知りたい、考えてみたい、なぜだろうという問いをもつことができれば、各教科の授業の学習意欲も高まり、大学で研究したい学問分野も自ずと明らかになるはずです。高校生活を一層充実したものとするためにも、高校生活3年間を通じてどんなテーマに注目しようか、自分自信に問いかけてみてください。

最後に、皆さんに一つだけ忠告をしておきます。どれだけメタ認知が得意で、自分を客観的に分析できていたとしても、皆さんは高校生活の3年間で自分自身がどれだけ高く跳べるか、どれほど大きく成長できるかということはまだ全く分かっていません。自分のことは自分が一番分かるという根拠のない自信に批判的になってください。自分はこの程度しか跳べない、この高さまででよい、これで十分などと自分を低く見積もってはなりません。運動でも学習でも自分の限界を越えたその先に真の成長があります。幸い、本校には豊富なノウハウを備えたベテランの先生、活力にあふれたフレッシュな先生、温かく皆さんを見守ってくれる先生、熱い魂で導いてくれる先生、個性あふれるタレント揃いの先生方がチームを組んで、皆さんの学校生活をサポートします。新入生の皆さんは、そうした環境の中で安心して思う存分高校生活を謳歌し、自分の殻をやぶって飛躍してもらいたいと思います。

保護者の皆様、今日から、大切なお子様をお預かりすることになりました。教職員一同、精一杯取り組んでまいりますので、どうかご協力をお願いいたします。お子様の教育は、学校と家庭とが手を携えることでうまくすすむものです。これから三年間、喜びも心配もともにしながらまいりたいと存じます。特に、困った時、迷った時には、どうぞいつでも相談をしてください。結びに、本校のさらなる飛躍のために、格別のご理解とご支援をいただきますよう重ねてお願い申し上げるとともに、新入生の皆さんの三年間が楽しく、そして、充実した日々となることを祈念し、式辞といたします。

令和八年四月六日

愛知県立小牧南高等学校長 井上 猛